



コンタクトレンズの
研究・開発・製造・販売

医療と連携して快適に装用できる、安心・安全なハードコンタクトレンズを作っています。

もっと、くわしく
みてみよう!



株式会社サンコンタクトレンズ

しょくばけんがくかのう
職場見学可能です

所在地／京都市下京区中堂寺庄ノ内町46番1 TEL.075-315-3050 <https://www.sun-con.com/>

設立／1971年(昭和46年) 従業員数／131名(2024年4月現在)

私たちの仕事

私たちは、一人ひとりの眼にぴったり合うハードコンタクトレンズを作る会社です。特別な機械で眼の形を測り、それに合わせて1枚1枚レンズを精密に削り出す製法で作っています。また、眼の形を測る機械の研究開発も行っています。さらに大学とも連携して、眼の病気の人が使う特別なレンズも開発しています。私たちがつくるコンタクトレンズは、多くの大学病院や全国の医療機関にて、お医者さまを通じ、医療機器として患者さまに提供されています。

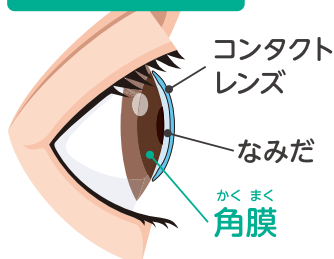


▲本社

どうして一人ひとりの眼に合ったコンタクトレンズが必要なの?

人の顔が一人ひとり違うように、角膜(黒目の部分)も人によって形状が違います。コンタクトレンズが眼に合っていないと、眼が「乾く」「ゴロゴロする」「痛い」「外れやすい」といったトラブルが起こりやすくなります。サンコンタクトレンズでは、眼の形を広く計測できる機器を開発し、一人ひとりに合ったコンタクトレンズを作ることで、トラブルを減らしています。また、その方法で、眼の表面のゆがみが強い人も使用できるコンタクトレンズを作っています。

眼の拡大イメージ

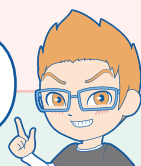


角膜の形状を専用機器で測定します

こんな使い方はダメ!

- ✕ 眼科で検査を受けない
- ✕ 手を洗わないで扱う
- ✕ 他の人と貸し借りする

コンタクトレンズは
正しく使おうね!



※コンタクトレンズは、不具合が生じた場合に人体へのリスクが比較的高い「高度管理医療機器」に指定されている医療機器です。

コンタクトレンズが届くまでを見てみよう!

サンコンタクトレンズが作るコンタクトレンズは、眼科専門医師の処方・アフターケアにより、安全性が保証されています。

眼科を受診

検査後、眼科医師が最適なレンズを処方します。

1 受注

2 製造



コンピューター制御の機械でアクリル樹脂を削ったあと、磨いてレンズを作ります。

3 検査



キズや汚れがないか、処方通りに作られているか、1枚ずつ検査します。

4 発送・納品

眼科を定期受診・アフターケア

眼科医師が眼との合い具合を確認し、必要ならその場でレンズを削って調整します。

ここに注目!! 難病で困っている人のためのコンタクトレンズがあるんだって!



京都府立医科大学と共同開発した「サンコンKyoto-CS」は、100万人あたり年間3人前後が発症する難病用のレンズ。治療用コンタクトレンズとして保険適用を受けた製品です。



通常のコンタクトレンズ(右)に比べて直径が大きいのが特徴

はたらく人の声



生産本部
倉本 圭佑さん



大阪営業所
富高 永真さん



研究開発部
坂本 悠さん

コンタクトレンズの製造をしています。よく見えるようになったと喜ぶ患者さんの声を聞くと、自分の仕事が誰かの役に立っていると実感でき、やりがいを感じます。

眼科の先生や患者さんが困っていることを、一緒に解決するために、営業担当としてコミュニケーションを取るよう心がけています。

コンタクトレンズを洗浄するための液剤の開発を担当しています。これまでの製品や他社製品よりも高い洗浄力を示せたときはうれしくなります。



もっと、くわしく
見てみよう!

職場見学可能です

? カスタムメイドの コンタクトレンズがあるって本当?

一人ひとりの眼にぴったり合うコンタクトレンズを作っています。

サンコンタクトレンズは、一人ひとりの眼にぴったり合うハードコンタクトレンズを作る会社です。特別な機械で眼の形を測り、それに合わせて1枚1枚レンズを精密に削り出す製法で作っています。また、眼の形を測る機械の研究開発も行っています。さらに大学とも連携して、眼の病気の人が使う特別なレンズも開発しています。サンコンタクトレンズがつくるコンタクトレンズは、多くの大学病院や全国の医療機関にて、眼科医師を通じ、医療機器として患者さまに提供されています。



本社

? どうして一人ひとりの眼に合ったコンタクトレンズが必要なの?
? 眼に合わないレンズを使用するとトラブルが起こりやすくなるためです。

人の顔が一人ひとり違うように、角膜(黒目の部分)も人によって形状が違います。コンタクトレンズが眼に合っていないと、眼が「乾く」「ゴロゴロする」「痛い」「外れやすい」といったトラブルが起こりやすくなります。サンコンタクトレンズでは、眼の形を広範囲に計測する機器を開発し、そのデータを科学的に解析して、一人ひとりに合ったコンタクトレンズを作ること、トラブルを減らしています。また、その方法で、眼の表面のゆがみが強い人も使用できるコンタクトレンズを作っています。

眼の拡大イメージ



角膜の形状を専用機器で測定します

こんな使い方はダメ!

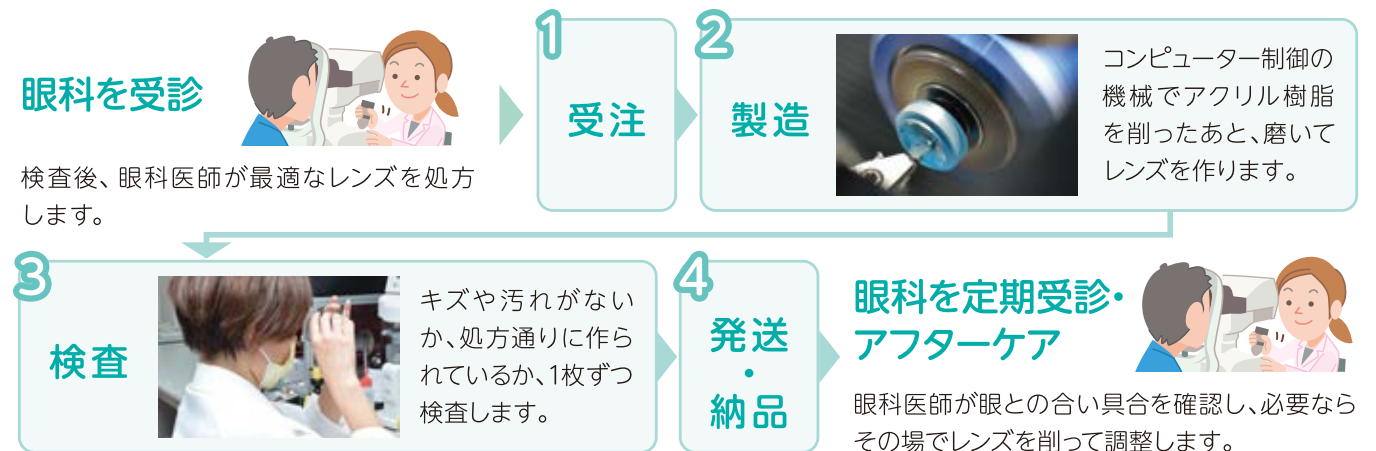
- × 眼科で検査を受けない
- × 手を洗わないで扱う
- × 他の人と貸し借りする



※コンタクトレンズは、不具合が生じた場合に人体へのリスクが比較的高い「高度管理医療機器」に指定されている医療機器です。

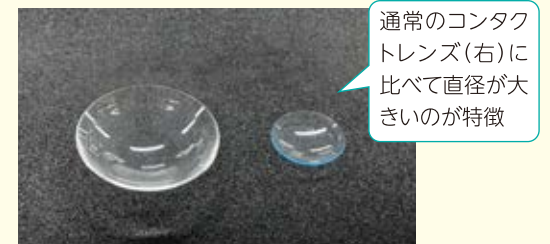
? どのようにコンタクトレンズを作ってくれるのかな?
? 一人ひとりの眼に合わせて精密に作るだけでなく、アフターケアも行います。

サンコンタクトレンズが作るコンタクトレンズは、眼科専門医師の処方・アフターケアにより、安全性が保証されています。



Point 難病で困っている人のための
コンタクトレンズを作っています。

京都府立医科大学と共同開発した「サンコンKyoto-CS」は、100万人あたり年間3人前後が発症する難病用のレンズ。治療用コンタクトレンズとして保険適用を受けた製品です。



通常のコンタクトレンズ(右)に比べて直径が大きいのが特徴

働く人の声を聞いてみよう!

Q&A

Q.どんな仕事をしていますか?

コンタクトレンズの製造を行っています。コンタクトレンズを作るだけでなく、製造するための機械のメンテナンスも行います。

Q.仕事で気を付けていることは?

コンタクトレンズは直径9mm程度の大きさですが、患者さまに合わせて細かく形状を変えています。そのため、レンズを作るための機械の調整やメンテナンスがとても重要で、機械やレンズの状態に常に気を配ってお仕事をしています。

Q.仕事のやりがいは?

眼の病気で悩んでいた患者さまからお礼のお手紙をいただくこともあります。コンタクトレンズを使用することで良く見えるようになり、喜んでおられる声を聞くことと自分の仕事が誰かの役に立っていることを実感でき、やりがいを感じます。

生産本部
倉本 圭佑 さん

Q.どんな仕事をしていますか?

病院や眼科医院を訪問し、主に医師や検査員の方へ商品を案内して販売するお仕事をしています。わが社の営業職は全員がアフターケアに必要なレンズの点検や加工の技術を持っており、アフターケアに関する相談を受けることもあります。

Q.この仕事を選んだ理由は?

人にとって、なくてはならないコトやモノに関わる仕事をしたいと考えていて、医療にかかわる仕事をしたいと思うようになりました。患者さまがより快適にコンタクトレンズを使用されていることを医師から聞くと、大きなやりがいを感じます。

Q.仕事で大事にしていることは?

営業担当として、できるだけ多くのコミュニケーションを取るよう心がけています。

大阪営業所
富高 永真 さん

Q.どんな仕事をしていますか?

洗浄液などのケア用品を開発しています。コンタクトレンズを常に清潔に使用していただくためにも、洗浄力や除菌力のあるケア用品を作る必要があると感じています。

Q.この仕事を選んだ理由は?

自分が開発した製品を世に出したかったので、研究開発職に就きました。自分が作ったケア用品が、これまでの製品や他社製品よりも高い性能(洗浄力)を示せたときはうれしくなります。

Q.仕事で気を付けていることは?

実験データのわずかな差や違いを見逃さないように気を付けています。そこから何を読み取り、どう次の改善につなげていくか考えることが重要です。

研究開発部
坂本 悠 さん